

2020 年度
特定行為研修を組み込んでいる
認定看護師教育課程
《 募 集 要 項 》



静岡県立
静岡がんセンター

目 次

I. 静岡県立静岡がんセンター認定看護師教育課程の概要

1. 教育理念
2. 教育目的
3. 教育期間
4. 特定行為実習について
5. 修了要件

II. 募集分野と人員

III. 出願資格

IV. カリキュラム概要

V. 出願手続き

1. 出願書類
2. 出願書類提出方法
3. 出願受付期間
4. 入学検定料
5. 受験票の送付
6. 出願・受験の取り消し
7. 出願上の注意
8. 入学試験の個人情報について

VI. 入学試験

1. 試験日と会場
2. 筆記試験概要
3. 合格発表

VII. 入学手続きおよび納付金

1. 入学手続き
2. 納付金
3. 入学手続き後の辞退手続きについて

VIII. 情報の開示

I. 静岡県立静岡がんセンター認定看護師教育課程の概要

1. 教育理念

成長と進化を継続し、人々を徹底支援できる人材を育成する。

2. 教育目的

- 1) がんの臨床・研究・教育を担うがん専門病院の教育課程として、患者家族、看護職者等に対し、特定の看護分野において高い臨床推論と病態判断力に基づき、熟練した看護技術、知識を用いて支援できる能力を培う。
- 2) 組織横断的に活躍する看護実践者、チームリーダーに必要なスキルを持ち、特定の看護分野を強みとして、人々をリードできる能力を培う。
- 3) 特定分野のケア・医療の質を俯瞰できる視点と実践した看護（実践、指導、相談）について省察できる力をもち、あるべき姿に向かって自分自身をリードできる能力を培う。

3. 教育期間

12 か月間（2020年4月～2021年3月）

2020年									2021年			
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
開 講 式	e-ラーニング (自施設にいながらの学習)			講義・演習・実習・科目試験 (集合教育)				認定 臨地実習	特定行為 実習	統合演習	修了試験	修 了 式

4. 特定行為実習について

臨床実習場所は受講生の所属施設（自施設）で行うことを強く推奨しています。
自施設で実習を行う利点として、実習中や実習後においても継続した臨床実習指導医の指導やサポートを受けやすいことや実習調整のしやすさに加え、実践に近い環境で学べる点などがあると考えています。

<自施設実習の要件>

- 1) 所属施設の医療安全体制を構築していること
- 2) 臨床実習指導者（注1）を確保できること
- 3) 緊急時の対応体制を構築していること
- 4) 患者への同意説明体制がとれること
- 5) 該当症例数の確保等の要件を満たす体制であること

（注1）臨床実習指導者の要件

- ・ 少なくとも医師を含む必要がある。
- ・ 臨床経験年数が7年以上である。
- ・ 医師の場合は「指導医講習会等の受講経験」または「医師臨床研修指導歴（臨床研修医および医学生に対する臨床での指導経験）あるいは担当分野に関する指導歴（患者やその家族に対する指導経験）」がある。
- ・ 看護師の場合は「特定行為研修を修了した者」または「これに準ずる者（専門看護師及び認定看護師、大学等での教授経験を有する看護師など）」がある。

5. 修了要件

- 1) 当該分野の認定看護師教育基準カリキュラムで定める全教科目（共通科目、認定看護師分野専門科目、特定行為研修区分別科目、統合演習、臨地実習）において、履修すべき時間数の5分の4以上を出席し、かつ教育機関の定める各教科目の試験に合格すること。
- 2) 教育機関の定める修了試験に合格すること。

II. 募集分野と人員

分野名	募集人員
皮膚・排泄ケア分野	10名
緩和ケア分野	10名
がん薬物療法看護分野	10名
乳がん看護分野	10名
がん放射線療法看護分野	10名

Ⅲ. 出願資格

出願資格は以下の要件をすべて満たしていることを条件とする。

- 1) 日本国の看護師の免許を有する。
- 2) 看護師免許取得後、通算 5 年以上（注1）実務研修（注2）をしていること。
- 3) 2)のうち通算 3 年以上は特定の看護分野（認定看護分野）の実務研修をしていること。
下記の『特定看護分野の実務研修内容の基準』を満たすこと。

4) 編入学者（注3）の入学要件は、2) 3) と同様とする。

（注1） 通算年数については、2019 年 9 月末時点とする。

（注2） 実務研修とは看護師としての看護実務経験を意味し、フルタイム勤務でない場合には、1,800 時間以上の勤務時間をもって 1 年相当とみなす。

（注3） 編入学者とは、特定行為研修を修了しており、認定看護師教育を受けるために入学する者を指す。

『特定看護分野の実務研修内容の基準』

（特定の看護分野における看護実績及び教育課程入学時に望まれる勤務状況）

皮膚・排泄ケア	<ol style="list-style-type: none"> 1) 通算 3 年以上、皮膚・排泄ケア領域における看護実績を有すること。 2) 皮膚・排泄ケア領域における看護を 5 例以上担当した実績を有すること。ただし、創傷、ストーマ、排泄管理の事例を各 1 例以上含むこと。 3) 現在、皮膚・排泄ケア領域における看護を行う臨床現場に勤務していることが望ましい。
緩和ケア	<ol style="list-style-type: none"> 1) 通算 3 年以上、緩和ケアを受ける患者の多い病棟、または在宅ケア領域での看護実績を有すること。 2) 緩和ケアを受ける患者を 5 例以上担当した実績を有すること。 3) 現在、緩和ケアを受ける患者の多い病院、または在宅ケア領域で勤務していることが望ましい。
がん薬物療法看護	<ol style="list-style-type: none"> 1) 通算 3 年以上、がん薬物療法を受けている患者の多い病棟・外来・在宅ケア領域における看護実績を有すること。 2) がん薬物療法を受けている患者の看護を 5 例以上担当した実績を有すること。 3) がん薬物療法薬の経静脈投与管理の実績が 1 例以上あることを必須とする。 4) 現在、がん薬物療法を受けている患者の多い病棟・外来で勤務していることが望ましい。
がん放射線療法看護	<ol style="list-style-type: none"> 1) 通算 3 年以上、がん放射線療法を受けている患者の多い病棟・外来・在宅ケア領域における看護実績を有すること。 2) がん放射線療法を受けている患者の看護を 5 例以上担当した実績を有すること。 3) 現在、がん放射線療法を受けている患者の多い病棟・外来で勤務していることが望ましい。
乳がん看護	<ol style="list-style-type: none"> 1) 通算 3 年以上、乳がん患者の多い病棟または外来等での看護実績を有すること。 2) 乳がん患者の看護を 5 例以上担当した実績を有すること。 3) 現在、乳がん患者の看護に携わっていることが望ましい。

IV. カリキュラム概要

1. 皮膚・排泄ケア分野

【目的】

1. 皮膚・排泄ケア分野において、個人、家族及び集団に対して、高い臨床推論力と病態判断力に基づき、熟練した看護技術及び知識を用いて水準の高い看護を実践できる能力を育成する。
2. 皮膚・排泄ケア分野において、看護実践を通して看護職に対し指導を行える能力を育成する。
3. 皮膚・排泄ケア分野において、看護職等に対しコンサルテーションを行える能力を育成する。
4. 皮膚・排泄ケア分野において、多職種と協働しチーム医療のキーパーソンとしての役割を果たせる能力を育成する。

【期待される能力】

1. 管理困難な創傷や皮膚障害を有する個人及びそのリスクのある個人を多角的に捉え、高い臨床推論力・病態判断力に基づいた高度な創傷管理や専門的なスキンケアができる。
2. 管理困難なストーマを有する個人を多角的に捉え、高い臨床推論力・病態判断力に基づいた専門的なストーマ管理やスキンケアができる。
3. 排泄障害を伴う個人及びそのリスクがある個人を多角的に捉え、高い臨床推論力・病態判断力に基づいた専門的な排泄管理やスキンケアができる。
4. 創傷管理や排泄管理を有する個人、家族及び集団に応じた管理ができるよう、身体的、心理的、社会的状況を多角的に捉え、問題解決のための指導ができる。
5. 皮膚・排泄ケア分野の対象にある個人、家族の権利を擁護し、自己決定を尊重した看護を実践できる。
6. あらゆる場で看護を必要とする対象に、より質の高い医療を提供するため、多職種と協働し、チーム医療のキーパーソンとして役割を果たすことができる。
7. 皮膚・排泄ケア分野において役割モデルを示し、看護職への指導、看護職へのコンサルテーションを行うことができる。

【コアとなる知識・技術】

1. 褥瘡のトータルマネジメントができる知識・技術
2. 管理困難なストーマや重度の皮膚障害を伴うストーマケア（ABCD-Stoma：慢性の病態）の知識・技術
3. 専門的な排泄管理（IAD-set）とスキンケアの知識・技術
4. 脆弱皮膚を有する個人およびそのリスクがある個人の専門的なスキンケアの知識・技術
5. 地域包括ケアシステムを視野に入れた同行訪問実施（施設や在宅の患者家族・看護職等への介入）とマネジメント
6. 身体所見を病態判断し、褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去及び創傷に対する陰圧閉鎖療法ができる知識・技術

【教科目と時間数】

科目名		教科目名	時間数	
共通科目		1. 臨床病態生理学	40	380
		2. 臨床推論	45	
		3. 臨床推論：医療面接	15	
		4. フィジカルアセスメント：基礎	30	
		5. フィジカルアセスメント：応用	30	
		6. 臨床薬理学：薬物動態	15	
		7. 臨床薬理学：薬理作用	15	
		8. 臨床薬理学：薬物治療・管理	30	
		9. 疾病・臨床病態概論	40	
		10. 疾病・臨床病態概論：状況別	15	
		11. 医療安全学：医療倫理	15	
		12. 医療安全学：医療安全管理	15	
		13. チーム医療論（特定行為実践）	15	
		14. 特定行為実践	15	
		15. 指導	15	
		16. 相談	15	
		17. 看護管理	15	
専門科目	認定看護分野専門科目	1. 皮膚・排泄ケア概論	15	195
		2. 皮膚のアセスメントとケア	30	
	3. 精神面のアセスメントとケア	15		
	4. 排便機能に破綻をきたす病態の理解と評価	15		
	5. 排尿障害に破綻をきたす病態の理解と評価	15		
	6. ストーマの管理	30		
	7. 排泄障害の管理	30		
	8. 創傷のアセスメントと管理	45		
	特定※	1. 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	22	68
		2. 創傷管理関連	46	
演習		統合演習	15	165
実習		臨地実習	150	
		特定行為研修 区分別 各5症例		
			合計時間数	808

特定※：特定行為研修区分別科目

2. 緩和ケア分野

【目的】

1. 緩和ケア分野において、個人、家族及び集団に対して、高い臨床推論力と病態判断力に基づき、熟練した看護技術及び知識を用いて水準の高い看護を実践できる能力を育成する。
2. 緩和ケア分野において、看護実践を通して看護職に対し指導を行える能力を育成する。
3. 緩和ケア分野において、看護職等に対しコンサルテーションを行える能力を育成する。
4. 緩和ケア分野において、多職種と協働しチーム医療のキーパーソンとしての役割を果たせる能力を育成する。

【期待される能力】

1. 患者を全人的に理解し、QOLを維持・向上するために、緩和ケアに関する最新の知識を持ち、専門性の高い看護を実践できる。
2. 患者の苦痛を多角的に捉え、高い臨床推論力・病態判断力を活用し、痛みやその他の苦痛を緩和することができる。
3. 緩和ケアを受ける患者の家族の全体像をアセスメントし、遺族ケアを含めた必要なケアについて理解できる。
4. 緩和ケアを受ける患者・家族の権利を擁護し、自己決定を尊重した看護を実践できる。
5. 病院等の組織や医療サービス提供システムを理解し、より質の高い医療を推進するため、多職種と協働し、チーム医療のキーパーソンとして役割を果たすことができる。
6. 緩和ケア分野において役割モデルを示し、組織内外の看護職に対し緩和ケアの実践を通して知識・技術を共有し、相手の能力を高める指導・コンサルテーションを行うことができる。
7. 緩和ケアに関する組織内外の他職種へのコンサルテーションに必要な知識や技術を習得し、コンサルテーションを行うことができる。

【コアとなる知識・技術】

1. 痛みやその他の身体的・心理社会的・スピリチュアルな問題を早期に見出し、的確にアセスメントするための知識・技術
2. 全人的苦痛を緩和し、QOLを向上するための症状マネジメント、コミュニケーション、多職種によるチーム医療に関する知識・技術
3. 家族の喪失や悲嘆に対する知識・技術

【教科目と時間数】

科目名		教科目名	時間数	
共通科目		1. 臨床病態生理学	40	380
		2. 臨床推論	45	
		3. 臨床推論：医療面接	15	
		4. フィジカルアセスメント：基礎	30	
		5. フィジカルアセスメント：応用	30	
		6. 臨床薬理学：薬物動態	15	
		7. 臨床薬理学：薬理作用	15	
		8. 臨床薬理学：薬物治療・管理	30	
		9. 疾病・臨床病態概論	40	
		10. 疾病・臨床病態概論：状況別	15	
		11. 医療安全学：医療倫理	15	
		12. 医療安全学：医療安全管理	15	
		13. チーム医療論（特定行為実践）	15	
		14. 特定行為実践	15	
		15. 指導	15	
		16. 相談	15	
		17. 看護管理	15	
専門科目	認定看護分野専門科目	1. がん看護学総論	30	225
		2. 腫瘍学概論	15	
		3. がんの医療サービスと社会資源	15	
		4. 緩和ケア総論	15	
		5. がん疼痛のマネジメント	30	
		6. がん疼痛以外の症状マネジメントⅠ	30	
		7. がん疼痛以外の症状マネジメントⅡ	30	
		8. スピリチュアルケア	15	
		9. 緩和ケアを受ける患者の家族・遺族ケア	15	
		10. 臨死期のケア	15	
		11. 緩和ケアにおける倫理的課題	15	
		特定※	1. 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	22
演習		統合演習	15	165
実習		臨地実習	150	
		特定行為研修 区分別 各5症例		
			合計時間数	792

特定※：特定行為研修区分別科目

3. がん薬物療法看護分野

【目的】

1. がん薬物療法看護分野において、個人、家族及び集団に対して、高い臨床推論力と病態判断力に基づき、熟練した看護技術及び知識を用いて水準の高い看護を実践できる能力を育成する。
2. がん薬物療法看護分野において、看護実践を通して看護職に対し指導を行える能力を育成する。
3. がん薬物療法看護分野において、看護職等に対しコンサルテーションを行える能力を育成する。
4. がん薬物療法看護分野において、多職種と協働しチーム医療のキーパーソンとしての役割を果たせる能力を育成する。

【期待される能力】

1. がん薬物療法を受ける患者・家族の身体的・心理的・社会的・スピリチュアルな状況を包括的に理解し、専門性の高い看護を実践できる。
2. がん薬物療法に関する臨床推論、病態判断に基づき、適正ながん薬物療法の遂行と有害事象マネジメントができる。
3. がん薬物療法を受ける患者のセルフケア能力を高め、がん薬物療法の遂行と患者が望む療養生活の実現を支援することができる。
4. がん薬物療法を受ける患者・家族の権利を擁護し、自己決定を尊重した看護を実践できる。
5. より質の高い医療を推進するため、多職種と協働し、チーム医療のキーパーソンとして役割を果たすことができる。
6. がん薬物療法の分野において役割モデルを示し、看護職への指導、看護職等へのコンサルテーションを行うことができる。

【コアとなる知識・技術】

1. がん薬物療法の治療計画に関する知識
2. がん薬物療法の適正な投与管理とリスクマネジメントを行うための知識・技術
3. がん薬物療法に伴う症状緩和のための知識・技術
4. 患者が自宅で治療管理や有害事象に対応するための、個別的な患者教育(安全な薬物療法の実施に向けた服薬アドヒアランス、副作用対策)を行う知識・技術
5. がん薬物療法を受ける患者・家族の意思決定支援のための知識・技術
6. がん薬物療法を受ける患者・家族が望む療養生活を支援するための知識・技術
7. がん薬物療法の曝露対策ができる知識・技術

【教科目と時間数】

科目名		教科目名	時間数	
共通科目		1. 臨床病態生理学	40	380
		2. 臨床推論	45	
		3. 臨床推論：医療面接	15	
		4. フィジカルアセスメント：基礎	30	
		5. フィジカルアセスメント：応用	30	
		6. 臨床薬理学：薬物動態	15	
		7. 臨床薬理学：薬理作用	15	
		8. 臨床薬理学：薬物治療・管理	30	
		9. 疾病・臨床病態概論	40	
		10. 疾病・臨床病態概論：状況別	15	
		11. 医療安全学：医療倫理	15	
		12. 医療安全学：医療安全管理	15	
		13. チーム医療論（特定行為実践）	15	
		14. 特定行為実践	15	
		15. 指導	15	
		16. 相談	15	
		17. 看護管理	15	
専門科目	認定看護分野専門科目	1. がん看護学総論	30	225
		2. 腫瘍学概論	15	
		3. がんの医療サービスと社会資源	15	
		4. がん薬物療法概論	15	
		5. がん薬物療法薬の知識	15	
		6. 主な疾患のがん薬物療法	30	
		7. がん薬物療法を受ける患者・家族のアセスメント	15	
		8. がん薬物療法の治療計画と看護	15	
		9. がん薬物療法の投与管理とリスクマネジメント	30	
		10. がん薬物療法に伴う症状の緩和技術とセルフケア支援	30	
		11. がん薬物療法を受ける患者の継続支援体制	15	
		特定※	1. 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	22
演習		総合演習	15	165
実習		臨地実習	150	
		特定行為研修 区分別 各5症例		
			合計時間数	792

特定※：特定行為研修区分別科目

4. がん放射線療法看護分野

【目的】

1. がん放射線療法看護分野において、個人、家族及び集団に対して、高い臨床推論力と病態判断力に基づき、熟練した看護技術及び知識を用いて水準の高い看護を実践できる能力を育成する。
2. がん放射線療法看護分野において、看護実践を通して看護職に対し指導を行える能力を育成する。
3. がん放射線療法看護分野において、看護職等に対しコンサルテーションを行える能力を育成する。
4. がん放射線療法分野において、多職種と協働しチーム医療のキーパーソンとしての役割を果たせる能力を育成する。

【期待される能力】

1. がん放射線療法を受ける患者・家族の身体的・心理的・社会的・スピリチュアルな状況を包括的に理解し、専門性の高い看護を実践できる。
2. がん放射線療法に関する臨床推論、病態判断に基づき、適正ながん放射線療法の遂行と有害事象のマネジメントができる。
3. がん放射線療法を受ける患者のセルフケア能力を高め、がん放射線療法の遂行と患者が望む療養生活の実現を支援することができる。
4. がん放射線療法を受ける患者・家族の権利を擁護し、自己決定を尊重した看護を実践できる。
5. より質の高い医療を推進するため、多職種と協働し、チーム医療のキーパーソンとして役割を果たすことができる。
6. がん放射線療法の分野において役割モデルを示し、看護職への指導、看護職等へのコンサルテーションを行うことができる。
7. がん放射線療法において確実な放射線防護策、安全管理を実践できる。

【コアとなる知識・技術】

1. 放射線治療を受ける対象(小児から高齢者)の身体的・心理的・社会的アセスメントを行うための知識及び援助技術
2. 放射線治療における再現性確保のための支援技術
3. 急性期及び晩期有害事象に対しての症状マネジメント(評価技術)とセルフケア支援の技術
4. 医療被曝を最小限にするための放射線防護策、安全管理技術
5. 患者にとって最善の治療となるように放射線治療チームのキーパーソンとしてディスカッションできる知識と技術

【教科目と時間数】

科目名		教科目名	時間数	
共通科目		1. 臨床病態生理学	40	380
		2. 臨床推論	45	
		3. 臨床推論：医療面接	15	
		4. フィジカルアセスメント：基礎	30	
		5. フィジカルアセスメント：応用	30	
		6. 臨床薬理学：薬物動態	15	
		7. 臨床薬理学：薬理作用	15	
		8. 臨床薬理学：薬物治療・管理	30	
		9. 疾病・臨床病態概論	40	
		10. 疾病・臨床病態概論：状況別	15	
		11. 医療安全学：医療倫理	15	
		12. 医療安全学：医療安全管理	15	
		13. チーム医療論（特定行為実践）	15	
		14. 特定行為実践	15	
		15. 指導	15	
		16. 相談	15	
		17. 看護管理	15	
専門科目	認定看護分野専門科目	1. がん看護学総論	30	225
		2. 腫瘍学概論	15	
		3. がんの医療サービスと社会資源	15	
		4. がん放射線療法概論	30	
		5. がん放射線療法看護概論	15	
		6. 対象に合わせた放射線療法と治療計画	45	
		7. がん放射線療法の治療計画における看護	15	
		8. がん放射線療法を受ける患者・家族の包括的アセスメントと看護支援	15	
		9. がん放射線療法に伴う有害事象マネジメントとセルフケア支援	30	
		10. 放射線療法における放射線防護と安全管理	15	
		特定※	1. 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	22
演習	統合演習	15	165	
実習	臨地実習	150		
	特定行為研修 区分別 各 5 症例			
			合計時間数	792

特定※：特定行為研修区分別科目

5. 乳がん看護分野

【目的】

1. 乳がん看護分野において、個人、家族及び集団に対して、高い臨床推論力と病態判断力に基づき、熟練した看護技術及び知識を用いて水準の高い看護を実践できる能力を育成する。
2. 乳がん看護分野において、看護実践を通して看護職に対し指導を行える能力を育成する。
3. 乳がん看護分野において、看護職等に対しコンサルテーションを行える能力を育成する。
4. 乳がん看護分野において、多職種と協働しチーム医療のキーパーソンとしての役割を果たせる能力を育成する。

【期待される能力】

1. 乳がん看護分野において、予防から診断・治療期・エンドオブライフを通じた個別的なケアを計画・実施できる。
2. 乳がん看護分野において、高い臨床推論力・病態判断力に基づき、患者を多角的にとらえ患者・家族の意思決定の支援ができる。
3. 乳がん手術療法において、術前から個別の病態に合わせた術後合併症予防及び緩和のための周術期看護が実践できる。
4. 乳がん薬物療法及び放射線療法にともなう症状の予防・緩和に向けてのアセスメント及びセルフケア支援ができる。
5. 女性のライフサイクルを踏まえた QOL 向上のためのサバイバーシップ支援が実践できる。
6. 乳がん患者・家族の人権を擁護するための適切な倫理的判断を行い、自己決定を尊重した看護を実践できる。
7. より質の高い乳がん医療を推進するため、地域への理解を深め、多職種と協働し、チーム医療のキーパーソンとして役割を果たすことができる。
8. 乳がん看護の実践を通して、役割モデルを示し、看護職等へのコンサルテーション、看護職への指導を行うことができる。

【コアとなる知識・技術】

1. 個別化された集学的乳がん治療に関する知識及び治療方針の意思決定支援技術
2. 術前から個別の病態に合わせた術後合併症予防及び緩和のための周術期看護技術
3. 女性のライフサイクルの課題を踏まえた、治療にともなう女性性と家族支援技術
4. 乳房自己検診、リンパ浮腫等の乳がん治療関連合併症の予防・管理技術
5. 身体所見から病態を判断し、創部ドレーンの抜去ができる知識・技術

【教科目と時間数】

科目名		教科目名	時間数	
共通科目		1. 臨床病態生理学	40	380
		2. 臨床推論	45	
		3. 臨床推論：医療面接	15	
		4. フィジカルアセスメント：基礎	30	
		5. フィジカルアセスメント：応用	30	
		6. 臨床薬理学：薬物動態	15	
		7. 臨床薬理学：薬理作用	15	
		8. 臨床薬理学：薬物治療・管理	30	
		9. 疾病・臨床病態概論	40	
		10. 疾病・臨床病態概論：状況別	15	
		11. 医療安全学：医療倫理	15	
		12. 医療安全学：医療安全管理	15	
		13. チーム医療論（特定行為実践）	15	
		14. 特定行為実践	15	
		15. 指導	15	
		16. 相談	15	
		17. 看護管理	15	
専門科目	認定看護分野専門科目	1. がん看護学総論	30	225
		2. 腫瘍学概論	15	
		3. がんの医療サービスと社会資源	15	
		4. 乳腺腫瘍学概論	45	
		5. 乳がん看護概論	15	
		6. 集学的治療を受ける乳がん患者の看護	45	
		7. 乳がんサバイバーとその家族への支援	15	
		8. 乳がん患者の意思決定を支える看護技術	15	
		9. 乳がん患者のボディイメージ変容への援助技術	15	
		10. 乳がん患者のリンパ浮腫の看護技術	15	
		特定※	1. 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	22
		2. 創部ドレーン管理関連	7	
演習		総合演習	15	165
実習		臨地実習	150	
		特定行為研修 区分別 各5症例		
			合計時間数	799

特定※：特定行為研修区分別科目

V. 出願手続き

1. 出願書類

出願書類一式は、静岡県立静岡がんセンター認定看護師教育課程ホームページからダウンロードしてください。

所定の様式書類		同封書類
様式 1	入学願書	<ul style="list-style-type: none">看護師免許証写し (A4 縮小コピー)受験票返信用封筒 <u>レターパックプラス (赤)</u> に宛先明記入学試験結果通知書送付用封筒 封筒：長形 3 号 120 mm×235 mm に 宛先明記、切手不要
様式 2	履歴書	
様式 3	受験志望動機	
様式 4	実務研修報告書	
様式 5	勤務証明書	
様式 6	推薦書(任意)	
様式 7	事例要約	
様式 8	受験票	

注 1) 書き方は『書き方見本』を参照してください。

注 2) 「様式 6 推薦書」の提出が無くても受験は可能です。

2. 出願書類提出方法

封筒に「認定看護師教育課程願書在中」と朱書きで明記の上、簡易書留で下記まで郵送してください。

〒411-0934 静岡県駿東郡長泉町下長窪 1002-1

静岡県医療健康産業研究開発センター内

静岡県立静岡がんセンター 認定看護師教育課程 事務担当

電話番号 (055) 980-5191

3. 出願受付期間

2019 年 10 月 1 日 (火) ～2019 年 10 月 11 日 (金) (消印有効)

4. 入学検定料

53,000 円

提出書類受理後、11 月上旬までに納入通知書を受験者の現住所に送付します。

同封の連絡文書を確認の上、期日までに振り込んでください。

振り込み期日は、2019 年 11 月 19 日 (火) です。

振り込み後の「納入通知書兼領収証」の写しは、試験当日に確認する可能性がありますので、必ず持参してください。

5. 受験票の送付

提出書類一式を審査し、受験が認められた方には 11 月中旬までに受験票を郵送いたします。受験票が届かない場合は、認定看護師教育課程事務担当までお問い合わせください。受験時には受験票を必ず携帯してください。また、受験票は合格発表まで必ず保管してください。

6. 出願・受験の取り消し

入学試験の出願・受験を取り消す場合は、電話連絡後、下記の文例を参考にした書面を送付ください。送付封筒には、「出願・受験取り消し」と朱書してください。なお、提出された出願書類は、当方で破棄します。

連絡・提出先：認定看護師教育課程事務担当

<文例>

出願・受験取り消しについて			
私事都合により、静岡県立静岡がんセンター認定看護師教育課程〇〇分野の出願及び受験を取り消します。			
20〇〇年	〇月〇日	受験番号〇〇	静岡花子（自署） 推薦者署名
			印 印

7. 出願上の注意

- 1) 出願書類等に不備がある場合は、受理しません。
- 2) 出願書類の記載内容が事実と相違する場合は、入学許可後でも許可を取り消すことがあります。
- 3) 一度納入された検定料については、理由を問わず返還しません。

8. 入学試験の個人情報について

出願にあたって提供された氏名、住所その他の個人情報については、本教育課程における選考試験（出願処理、選考実施）、合格発表ならびに入学手続きなど、これらに付随する業務においてのみ利用します。

VI. 入学試験

1. 試験日と会場

1) 実施日

2019年12月4日（水）・12月5日（木）

2) 試験科目及び実施時間

一次選抜試験

	月 日	時 間	試 験 科 目
筆記試験Ⅰ	12月4日（水）	10:30～12:00	専門科目（選択解答式）

二次選抜試験

- ・一次選抜試験合格者に対して二次選抜試験を実施します。
- ・受験者数40名以上の分野は、成績上位40位迄を一次選抜試験の合格とします。
- ・一次選抜試験の合格者の受験番号は12月5日（木）8:30に静岡県医療健康産業研究開発センター（ファルマバレーセンター）玄関に掲示します。

	月 日	時 間	試 験 科 目
筆記試験Ⅱ	12月5日（木）	9:30～10:30	専門科目（記述式）
口述考査		10:45～	面接

※口述考査は原則として受験番号順とします。

3) 試験会場

静岡県駿東郡長泉町下長窪 1002-1 静岡県医療健康産業研究開発センター内
(ファルマバレーセンター)

2. 筆記試験概要

	筆記試験 I	筆記試験 II
皮膚・排泄ケア	創傷・オストミー・失禁領域における解剖生理学、臨床実践に関する基本知識、臨床場面における判断やアセスメント・看護ケアに関する選択解答式問題	創傷・オストミー・失禁領域患者の臨床場面で、患者の状況、局所のアセスメントができるかを問う事例記述式問題
緩和ケア	がん看護及び緩和ケアに関連した基礎知識、緩和ケアの臨床実践に関する基本知識、緩和ケアの臨床場面における判断やアセスメント・看護ケアに関する選択解答式問題	緩和ケアを受ける患者とその家族のアセスメントを含む看護過程を問う記述式問題、及び自身が実践する緩和ケアを言語化する力をみる記述式問題
がん薬物療法看護	がん及びがん看護に関連した基礎知識、がん薬物療法の臨床実践に関連した基本知識、がん薬物療法の臨床場面におけるアセスメントや看護に関する選択解答式問題	がん薬物療法を受ける患者とその家族のアセスメントと看護支援を問う記述式問題、及び基本的ながん薬物療法の治療や看護を踏まえた上で、自身の考えを要約する力をみる記述式問題
がん放射線療法看護	がん及びがん看護に関連した基礎知識、がん放射線療法の臨床実践に関連した基本知識、がん放射線療法の臨床場面におけるアセスメントや看護に関する選択解答式問題	がん放射線療法を受ける患者とその家族のアセスメントと看護支援を問う事例記述式問題、及びがん放射線療法の治療や患者とその家族の状況を踏まえた上で自身の考えを言語化する力をみる記述式問題
乳がん看護	乳がんの病態・治療及び乳がん看護に関連した基本知識、乳がん看護の臨床実践に関連した基本知識、乳がんの臨床場面におけるアセスメントや看護に関する選択解答式問題	集学的治療を受ける乳がん患者の臨床場面で、患者、家族のアセスメントや看護支援を問う事例記述式問題、乳がん治療や看護の動向を踏まえ自身の考えを要約する力をみる記述式問題

3. 合格発表

1) 発表日時

2019年12月20日（金）午前11時

2) 発表場所

静岡県立静岡がんセンター ホームページ

3) 入学試験結果の通知

合格発表後、入学試験を受験した者全員に合否を郵送で通知します。
合否の結果に関する電話等による問い合わせは一切受け付けません。

4) 補欠・繰上げ合格

合格者より辞退が出た場合、補欠者の中から繰上げ合格とします。
※補欠自体は合格ではありません。合格発表後、対象者に郵送で通知します。

VII. 入学手続きおよび納付金

1. 入学手続き

- 1) 合格者には、合格通知時に入学手続きについての詳細をご案内します。
- 2) 誓約書の提出期日は、2019年12月27日（金）（消印有効）です。
年末年始のため、提出期日が短期間となります。

2. 納付金

入学金：53,000円

授業料：978,000円

※講義で使用する図書費・教材費、実習中の宿泊費、交通費及び資料代は含みません

- 1) 誓約書を受理した後、納入通知書を送付します。
振り込み期日は、2020年1月31日（金）です。

3. 入学手続き後の辞退について

入学手続き後に入学を辞退する場合は、電話連絡後、下記の文例を参考にした書面を送付してください。送付封筒には、「入学辞退」と朱書してください。認定看護師教育課程事務担当に至急連絡ください。なお、納入された入学金・授業料は原則として返還しません。

<文例>

入学辞退届
私は、下記の理由により、入学を辞退いたします。
（理由）
20〇〇年 〇月〇日 受験番号〇〇 静岡花子（自署） 印

VIII. 試験結果の開示

受験者は、自己情報の開示を請求することができます。開示を希望する者は、認定看護師教育課程事務担当へ電話にて日程調整後、受験票を持参のうえ、直接来校してください。なお、郵送等による開示請求はできません。

開示請求できる人	開示内容	開示期間	開示場所
受験者	総合得点及び順位	合格発表日より 1 か月間	静岡県医療健康産業 研究開発センター内

開示対応時間：土日祝日を除く午前10時～11時30分、午後13時30分～15時まで

問い合わせ先

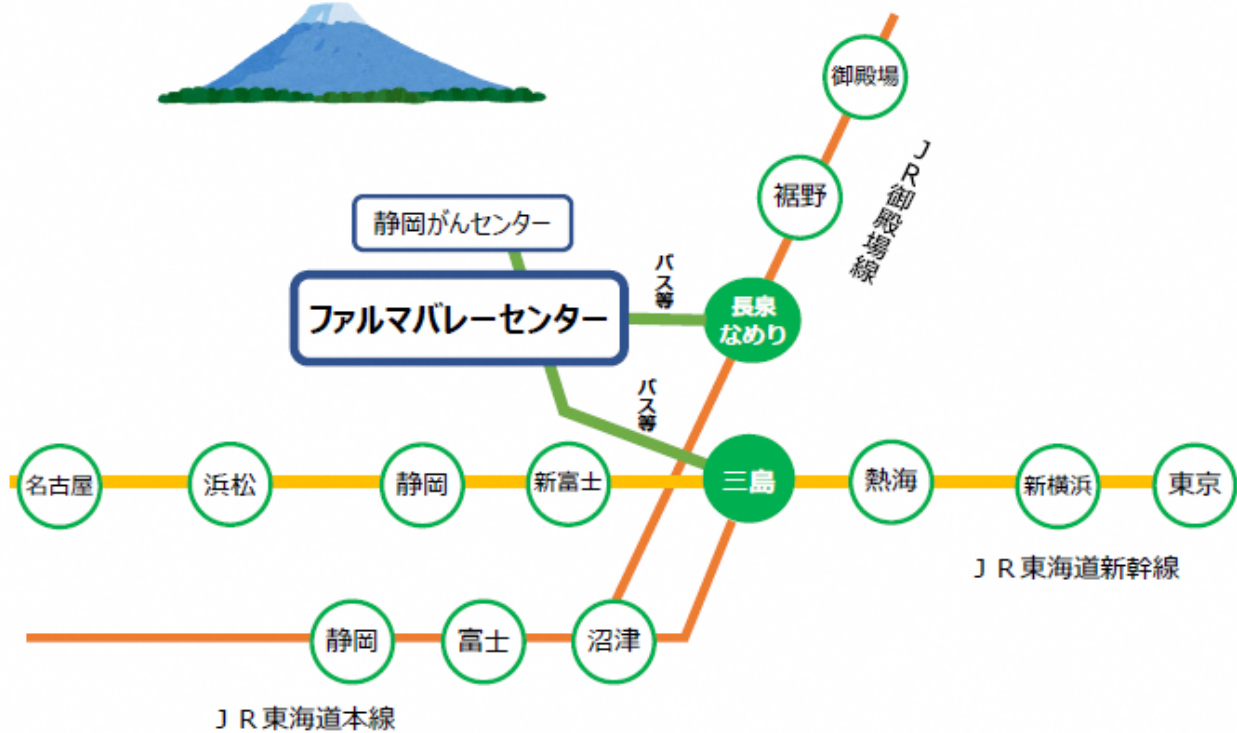
〒411-0934 静岡県駿東郡長泉町下長窪1002-1

静岡県医療健康産業研究開発センター内

静岡県立静岡がんセンター 認定看護師教育課程 事務担当

電話番号 (055) 980-5191

静岡県医療健康産業研究開発センター（ファルマバレーセンター）への交通案内



- ・ J R 東海道線三島駅からタクシー利用の場合、約 1 5 分
(バスで約 2 5 分、「ファルマバレーセンター」下車)
- ・ J R 御殿場線長泉なめり駅からタクシー利用の場合、約 5 分
(バスで約 1 0 分、「ファルマバレーセンター」下車)

静岡県医療健康産業研究開発センター（ファルマバレーセンター）
〒411-0934
静岡県駿東郡長泉町下長窪 1002- 1